

秋冬製品のご案内

●こてっちゃん牛もつ鍋シリーズ……………

ニラとキャベツを入れて煮込むだけで、ご家庭で牛もつ鍋が楽しめる「牛もつ入りもつ鍋スープ」です。今年も牛もつを昨年より20%増量しました。

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋 醤油味

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋 味噌味

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋 コチジャン味

●極亭(きわみてい)牛もつ鍋シリーズ……………

下味付牛もつと濃縮スープ・唐辛子をセットにした美味しさを追求した鍋シリーズです。

リニューアル



極亭 博多名物牛もつ鍋 醤油味

リニューアル



極亭 博多名物牛もつ鍋 味噌味

新発売



極亭 旨辛ホルモン鍋

●おかず楽菜シリーズ……………

野菜を加えて調理する具(肉)入り調理ソースです。フライパンで炒めるだけでなく、電子レンジ調理も可能な商品です。

豚肉とキャベツの ごま味噌炒め



レバニラ炒め



牛肉のすき焼き肉豆腐



豚肉と白菜のうま煮



豚ばら大根

会社概要

社名 エスフーズ株式会社
SFoods Inc.(コード番号2292東証1部)
設立 1967年(昭和42年)5月22日
代表者 代表取締役社長 村上真之助
資本金 42億9,835万円
事業内容 食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業(グループ)

株式メモ

■事業年度 3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日 2月末日
■中間配当金受領株主確定日 8月31日
■定時株主総会 毎年5月
■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■事務取扱場所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 ☎0120-782-031 (通話無料)
インターネット) <https://www.smb.jp/personal/agency/index.html>
ホームページURL)

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所 東京証券取引所
■公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数 100株

【特別口座の口座管理機関変更に関するご案内】

2016年5月25日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社へ変更いたしました。



SFoods

SFoods News

2020年8月中間報告

2020年3月1日～2020年8月31日





企業集団の営業経緯および成果についてのご報告

代表取締役社長
村上 真之助

当社の経営環境

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、世界的に猛威を奮いつつある新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、多くの業界において営業の短縮・停止や売上の不振など甚大な影響を受けました。期間後半には国を挙げての対策により感染拡大は収まりつつあるものの、経済活動の回復には未だ至っていない状況です。当食肉業界におきましては、外食業においては壊滅的な被害を被ったものの、小売業態においては、比較的堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、「魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」、「企業の成長発展とともに、生活・文化の向上を図る」という社是に基づき、食品の供給というエッセンシャルワークを行う事業者として、食肉商品の安定的供給と事業継続に努めました。

営業の概況

食肉等の製造・卸売事業においては、需要と供給の両面において混乱が生じる中、安定的に事業を継続することと、お客様に商品を実確にお届けすることを主眼に諸施策を行いました。営業、製造それぞれの現場において、感染防止のための衛生管理の徹底、事業継続計画の実施などを行い、食品の流通に支障が出ないように業務を遂行いたしました。また、勤務体制や会議実施形態の見直しを行い、ウィズコロナにおける事業のあり方も模索しました。

製造事業においては、国民の生活様式の急激な変化による新たな需要に対応するため、新たな製品作りに取り組みました。生産事業においては、長年注力してきた北海道の豚肉ブランド「ゆめの大地」の増頭投資が完了し、新農場からの出荷も始まりました。

食肉等の小売事業においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安心・安全な食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、4月に入ってから緊急事態宣言発出以降、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりましたが、5月後半の同宣言解除以降、営業時間の制限などの制約はあるものの、全店での営業を再開しております。

今後とも、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防対策をした上で営業を継続していく方針です。

業績

当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により販売価格が下落したことなどにより、売上高1,592億8千万円(前年同四半期比8.5%減)、家庭需要の高まりから小売店向けの販売が好調に推移したことなどにより、営業利益60億2千7百万円(前年同四半期比28.6%増)、経常利益61億6千6百万円(前年同四半期比23.7%増)、固定資産売却益を40億5千万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益62億5千2百万円(前年同四半期比157.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,443億3千6百万円(前年同四半期比9.2%減)、セグメント利益は57億7千3百万円(前年同四半期比22.6%増)となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は118億4千5百万円(前年同四半期比13.3%増)、セグメント利益は9億6千1百万円(前年同四半期比127.3%増)となりました。

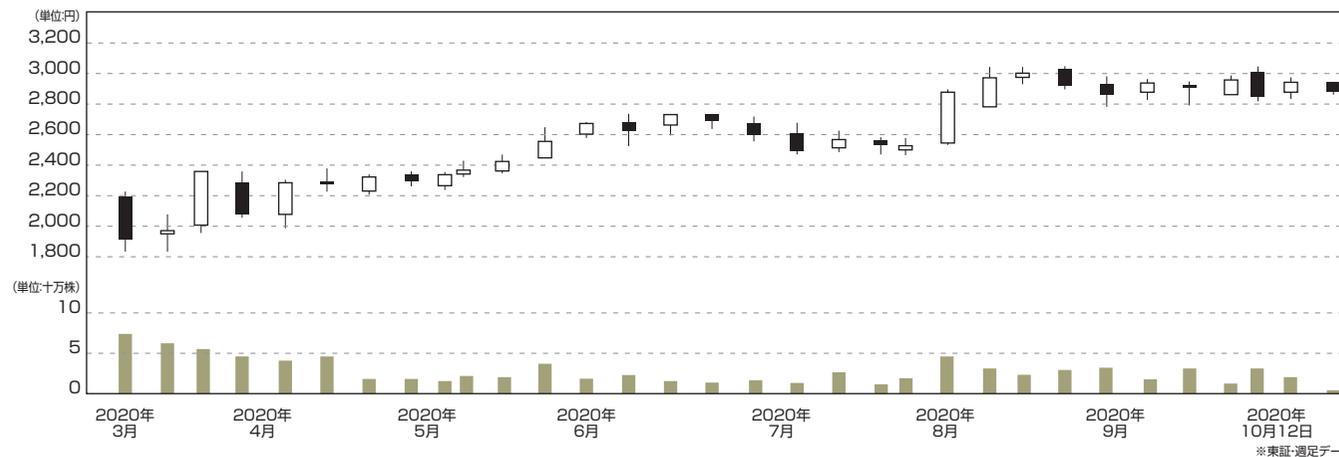
③食肉等の外食事業

売上高は23億8千7百万円(前年同四半期比39.1%減)、セグメント損失は1億7千1百万円(前第2四半期連結累計期間1億5千8百万円の利益)となりました。

④その他

売上高は7億1千1百万円(前年同四半期比1.3%減)、セグメント損失は5千6百万円(前第2四半期連結累計期間8千4百万円の利益)となりました。

●株価の推移と株式の売買高



営業成績と財産状況の推移

●連結

単位:百万円

期別 区分	2019年8月 第2四半期	2020年8月 第2四半期	2020年 2月期	2021年 2月期予想
売上高	174,084	159,280	351,972	330,000
営業利益	4,686	6,027	10,703	8,000
経常利益	4,985	6,166	11,085	8,200
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,426	6,252	6,511	7,200
総資産	174,801	170,972	171,071	—
純資産	85,233	92,281	86,348	—

●配当の状況

単位:円

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
一株当たり 年間配当金	43	56	60	64*
(中間配当金)	(19)	(28)	(30)	(32)
(期末配当金)	(24)	(28)	(30)	(32)*

*印は予定です

●株式の状況

発行する株式の総数 120,000,000株
 発行済株式の総数 32,267,721株
 株主数 4,090名